

1. 概要

- 10月11日（日本時間）に発生したソユーズロケットの異常により、ソユーズ宇宙船（56S）が緊急帰還した。
- ロスコスモスによる事故調査の結果、組立時に発生したロケット1段（ブースター）の分離用センサーの変形が原因と発表。
- あわせて、ソユーズロケット・宇宙船（57S）の飛行再開スケジュールは、12月3日（現地時間）と発表された。

2. ロスコスモスからの事故原因発表内容

- ソユーズロケット1段（ブースター）の1基の分離シーケンス異常が引き金となり、当該ブースターがロケット2段のタンクに衝突し、タンクが減圧されたことで、機体の安定性を失った。
- ブースターの分離シーケンス異常は、（ブースターを2段から引き離すための推力を発生させる、）当該ブースターのジェットノズルの蓋が開かなかったため、バイコヌール宇宙基地での組み立て作業において分離用接触センサーを変形させたことが原因。



ソユーズロケット (Soyuz FG)

3. ソユーズ宇宙船の飛行再開スケジュール

- 56Sの次となるソユーズ宇宙船（57S）の打上げ日は、12月3日（現地時間）とロスコスモスより発表（11/1発表）。
- 57Sには、オレグ・コノネンコ（露）、ダビッド・サン・ジャック（カナダ）、アン・マクレイン（米）宇宙飛行士が搭乗予定。

4. 今後のISSの宇宙飛行士滞在予定について

12/3予定の57S打上げ後、6名体制となり、ISSの宇宙飛行士滞在が継続される見込み。
その後、現在滞在中の3名の宇宙飛行士が12/20に帰還し、当面3名体制となる見込み。

